

サンドライ材と普通材の 販売比較について (835)

十和田署 製品事業所 ○菅原征男
成田光雄
事業課 岩谷政美

はじめに

サンドライ材の生産については局署一体となって取り組んでいるところであり、十和田署においても積極的に取り組み、現場共々秋田スギの銘柄化、材質の向上などについては理解がすすんでいるところであります。

サンドライ材が売り易い、買い易いといわれていますが、自分たちが苦勞して生産した材が普通材と比較して価格にどのように反映して経営改善に役立っているのか知りたいとの声がサンドライ材生産量増加とともに出てきました。

サンドライ材の販売価格の有利性を明らかにすることは生産意欲の向上のみならず、有利販売の展開にも意義のあるところであります。

このため予備的にサンドライ材と普通材との比較対照巻立てによる公売時における比較調査と保完調査を行ったのでこれについて報告します。

1 調査内容

(1) 比較対照巻立てによる公売調査

同一林分から生産されたサンドライ材、普通材についてほぼ同等内容となる対照巻立てをひとつづつ山元で生産し、同時に公売に付して価格差を見ることとした。

ア 生産林分の概要

◎箇所 十和田事業区大湯国有林73林班て小班 ◎伐採種 皆伐 ◎林齢 77年生

イ 生産林分の作業仕組

◎サンドライ材伐倒期間 H2.8.7~8.23 (延べ12人) ◎全体の集材期間 H2.9.25~12.7 ◎サンドライの集材期間 H2.10.16~11.20 ◎作業方法 全幹伐倒・トラクター集材・玉装造材・機械巻立

ウ 生産量 サンドライ270m³、普通材660m³、計930m³

エ 販売方法 公売、随契

(2) 当署の公売における価格の比較調査

サンドライ材及び普通材の公売結果につき比較検討した。

(3) 買受者からの聞き取り調査

本年は特に調査設計は行わず、適宜サンドライ材に対する価格設定傾向について聞き取りを行った。

2 調査結果

(1) 比較対照巻立てによる公売結果

ア サンドライ材
と普通材の販売
単価比較は1回

「表-1」比較対照巻立てによる公売結果

区分	長径 m	径級 cm	本数	材積 m ³	1本当り 材積 m ³	等級 品質	販売額 円	m ³ 当 り単価	上廻率 %
ソフトライ	3.65	14~48	118	38.133	0.256	中玉AB	910,950	38.181	112
普通材	3.65	14~36	154	38.182	0.196	中玉AB	886,000	29.402	125
比較差								779	△ 13

だけであり、1本当り材積など因子の違いもあり不十分な調査となった。

イ 販売価格をみるとm³当り単価が779円高いだけでありサンドライの有利性はみられなかった。

「表-2」署全体の公売結果(3.65,4.00材)

区分	販売数量 m ³	販売金額 円	平均単価 円	上廻率 %
ソフトライ	2,094	84,351,000	38.731	117
普通材	3,571	72,037,000	20.173	110
比較差			18.558	7

(2) 当署の公売における価格比較調査

ア 署全体の公売結果の比較からみると平均単価差10,558円、上廻り率でも7%でサンドライ材が高くなっている。サンドライ材の実行林分は林齢も高く比較的良材の箇所を設定していることもあるが、総体的にみて有利性が見受けられる。

イ 近似林分の公売結果によっても平均単価で4,780円、上廻り率で4%サンドライ材が高くなっている。

「表-3」近似林分の公売結果(3.65材)

区分	長径 m	径級 cm	本数	材積 m ³	1本当り 材積 m ³	等級 品質	販売額 円	m ³ 当 り単価	上廻率 %	備考
ソフトライ	3.65	11~44	618	117.891	0.191	込・中玉AB	3,619,000	30.697	121	7月公売, 林齢76
普通材	3.65	5~48	799	151.944	0.192	込・中玉AB	3,938,000	25.917	117	8月公売, 林齢76
比較差								4,780	4	

(3) 買受者からの聞き取り調査

ア サンドライ材の品質、重量軽減、乾燥短縮などのメリットについては十分理解が浸透しているといえる。

イ サンドライ材の入札にあたりサンドライであるとの理由だけで特に高く価格設定をする傾向はみられなかったが、サンドライ材は優良林分から生産されたものが主体であるとの考えから、高価格入札になる場合もある。

ウ その他意見として次ぎのように集約される。

(ア) 署の評価額が普通材と変わらないと承知しており、特にサンドライ材に

高い札を入れることはない。

(イ) 製材品の人気が高くサンドライ材が欲しい場合は高い入札も有りうる。

(ウ) 原木高の傾向にあり、低価格材が欲しい場合はサンドライ材を避ける。

おわりに

巻立てによる比較調査は秋の生産追込み時期に入ってから調査のため不十分なものとなったが、公売実績値からみると普通材と比較してサンドライ材の有利性が見られます。また、買受者からの聞き取り調査では明らかに買い方はサンドライ材を評価しており、今後の販売に当ってはこの有利性をいかに有利販売のための条件因子に結び付けいくかであります。

そのため、3年度以降は春型、夏型において継続調査を行うとともに、買受者に対してもアンケート調査等を実施しながら、一定の成果を得ていくとともにサンドライ材に対する理解をさらに深めていく一助にしたいと考えております。